

速報 &gt; 国際 &gt; 記事

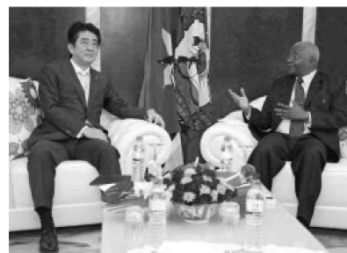
**首相、ODA700億円表明 日モザンビーク首脳会談**

2014/1/12 21:45

保存 印刷 リプリント   共有

【マプト（モザンビーク）＝川手伊織】中東・アフリカ歴訪中の安倍晋三首相は12日午前（日本時間同日夜）、モザンビークでグゼザ大統領と会談し、資源の採掘や加工で人材育成を重視した支援策を打ち出した。その後の講演では日本企業の投資は現地の雇用を生み出すことを強調。自国の労働者を送り込む中国との違いを鮮明にしてアフリカ支援で先行する中国をけん制する。

日本の首相のモザンビーク訪問は初めて。会談で首相は資源開発を支援する構想「日モザンビーク天然ガス・石炭発展イニシアチブ」を提唱した。豊富な資源を持つ同国で、鉱山開発、資源の精錬加工、環境問題への対応など資源に絡む人材を今後5年で300人以上育てる目標だ。石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）や国際協力機構（JICA）、千代田化工建設、秋田大学が専門家の派遣や日本での研修受け入れで協力する。



モザンビークのグゼザ大統領と会談する安倍首相（12日、マプト）＝共同

日本経済新聞 2014年1月12日

1

会談ではモザンビークの主要港から内陸に伸びる幹線道路「ナカラ回廊」などを建設するため、円借款など政府開発援助（ODA）を今後5年間で約700億円供与すると表明。これに加えて天然ガスを使った最新の火力発電所新設にも172億円の円借款を供与する。ビジネス環境を整えるため両国で官民合同対話を開くことも決めた。

**日モザンビーク共同声明の概要****首脳合意**

○ビジネス環境整備に向けた官民合同対話の開催

○投資協定の早期発効を期待

○国連安保理改革の協力

**安倍首相が表明**

○「ナカラ回廊」開発に5年間で約700億円のODA供与

○5年間で300人以上の資源関連の人材を育成する「天然ガス・石炭発展イニシアチブ」

○青年海外協力隊を増員

首相訪問に合わせて政府はモザンビークで投資フォーラムを開いた。首相が講演し「豊富な資源の恩恵は（モザンビークの）持続的成長や国民生活の向上に役立てなければならない。日本企業の投資は技術を現地に移転し、雇用を生み出す」と表明。具体例として三菱商事が参画するアルミ精錬の合弁会社モザールを挙げ、モザールは直接雇用で1千人超、周辺産業を含めると1万人超の雇用を生み出すと指摘した。

雇用効果を強調することでアフリカ進出で先行する中国や欧米との違いを訴え「日本をビジネスパートナーに選ぶなら今だ」と呼びかけた。モザンビークでは新日鉄住金が製鉄に使う原料炭の権

益を確保し、三井物産は巨大ガス田を開発する予定で、投資フォーラムには商社や建設など日本企業約30社が参加した。

日本経済新聞 2014年1月12日



**8 8つの「成長ベルト」事業計画の提案**

短期・長期事業を組み合わせ、**「成長の加速化」**を確保

成長ベルトを実現するための広域運輸インフラ事業について、構想した短期事業（2012年までに事業開始を予定）、長期事業（2020年までに事業完了）について、以下に概要を示す。

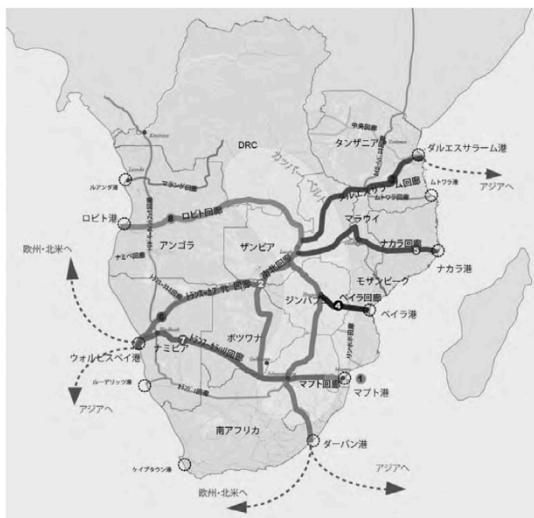
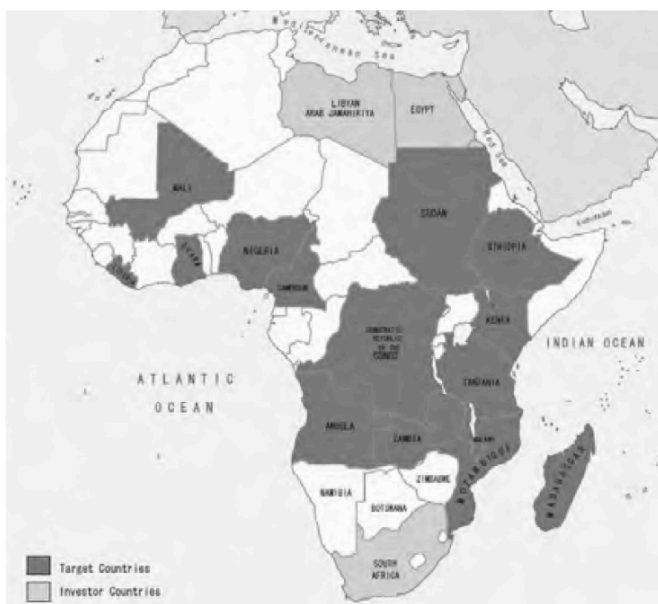


図 10 最優先 8 回廊

「SDG2010」南部アフリカ成長ベルト 広域協力  
プログラム準備調査 ファイナルレポート」



出典：同上

図 3.1.8 アフリカにおける農業生産を目的とした土地投資の投資元国とターゲット地域 2006～09年

「SDG2010」南部アフリカ成長ベルト 広域協力  
プログラム準備調査 ファイナルレポート」

表 9 ナカラ回廊及び南北回廊整備にかかる近年の主な JICA 支援案件

対象回廊	分野・案件名
ナカラ回廊	ナカラ回廊経済開発戦略策定プロジェクト
	ナカラ回廊農業開発関連の技術支援（ナカラ回廊農業開発マスタープラン策定支援プロジェクト、ナカラ回廊農業開発研究能力向上プロジェクト、ナカラ回廊農業開発におけるコミュニティレベル開発モデル策定プロジェクト）
	ナカラ港改善のための技術支援等（ナカラ港開発事業準備調査、ナカラ港緊急改修計画準備調査、ナカラ港運営改善プロジェクト等）
	ナカラ回廊道路・橋梁整備支援（複数の道路区間及び橋梁整備のための F/S、詳細設計及び資金協力）
	その他の関連支援（尿素肥料工場整備事業準備調査、ニアッサ州持続的的地方給水・衛生改善プロジェクト等）
南北回廊	カズングラ橋建設事業
	チルンド OSBP 整備支援（法制度整備支援、研修等）
	産業開発支援（ザンビア投資促進プロジェクト、ザンビア産業ストラテジー策定支援、ルサカ南部複合的経済特区（MFEZ）マスタープラン調査、ザンビア電力開発マスタープラン調査等）

JICA(2015年3月)「南部アフリカ地域経済回廊インフラ開発支援に係る情報収集・確認調査ファイナルレポート」<sup>7</sup>

表 11 ナカラ回廊沿いのポテンシャル産業拠点

国	ポテンシャル産業拠点
<b>農業及びアグロインダストリー</b>	
モザンビーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ナカラ～ナンブラ～クアンバ～マンディンバ～リシंगा区間沿線の農業地帯（「JICA モザンビーク熱帯サバンナ農業開発プログラム」の対象地を含む）</li> <li>◆ ナカラ、ナンブラ、クアンバ、マンディンバ、リシंगाを拠点とするアグロインダストリー</li> </ul>
マラウイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中南部地域の農業</li> <li>◆ ブランタイヤ、ゾンバを拠点とするアグロインダストリー</li> </ul>
ザンビア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ チパタ～ルサカ区間沿線の農業地帯</li> </ul>
<b>鉱業及び素材産業</b>	
モザンビーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ナカラ経済特区（SEZ）での多様な工業（モザンビーク北部の沖合で抽出される天然ガスを活用した重化学工業（尿素肥料、メタノール等の製造含む）、リン鉱石を活用したリン肥料製造など）</li> <li>◆ テテにおける石炭を活用した素材産業</li> </ul>
マラウイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 鉱業ポテンシャルのある多様な地区（重鉱物砂、レアメタル、ウラン、石炭等）</li> </ul>
ザンビア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ルサカ～コッパーベルト区間沿線の地域（銅、鉄鉱石、石炭）</li> <li>◆ 多機能経済特区（MFEZ）でのエンジニアリング製品（機械・化学など）の製造</li> </ul>

出典：調査団

JICA(2015年3月)「南部アフリカ地域経済回廊インフラ開発支援に係る情報収集・確認調査ファイナルレポート」<sup>8</sup>